

第19回春季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 兼 第74回宮城県高等学校軟式野球春季大会

□大会第5日目 5月23日(金)

準決勝		利府中央公園野球場								2 時間 17 分																									
仙	台	工	業	0	0	0	0	0	0	1	1	0			2	【仙】		33	7	1	0	2	3	9	9	4	0								
東	北	0	1	0	0	0	0	4	3	X					8	【東】		32	14	6	2	6	2	4	8	2	0								
(球) 浅野 雅訓 (一) 武田 徹 (二) 三浦 徹 (三) 島貫 行男																▽本塁打 なし																			
【仙】		高橋立, 佐藤輝, 須藤, 寒河江, 中村								—		中畠		▽三塁打 後藤1(東北)																					
【東】		高森								—		佐藤		▽二塁打 中畠, 大島 (仙)																					
▽暴投 なし																▽捕逸 なし										本間2, 坂本, 後藤, 高森 (東)									

【評】

晴天の中行われた準決勝第一試合、昨年度秋季大会の優勝校第一シード東北高校と一回戦から接戦を勝ち上がってきた仙台工業との顔合わせとなった。東北高校は2回の裏、先頭打者の本間が二塁打で出塁。その後7番坂本のスクイズにより幸先よく先制する。その後は、東北高校高森、仙台工業高橋立の好投により緊迫した展開が続く。両投手の好投が続く中、7回表に仙台工業は1, 3塁からのダブルスチールにより得点をあげ同点とする。しかしその裏、東北高校はエラーと連打で作った満塁のチャンスを押し出しの四球と7番本間のタイムリーでものにし4点を追加する。8回にも3点を追加し東北高校がゲームを決定づけた。東北高校先発の高森は9回を一人で投げ切り完投勝利。投打に力を発揮した東北高校が仙台工業を下し、決勝へ駒を進めた。

準決勝										利府中央公園野球場										1 時間 35 分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仙 台 商 業		1 0 0		0 0 1		1 0 1				4		【商】		30 5 4 4 5 4 2 8 0 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

【評】

準決勝第二試合、昨年度秋季大会の準優勝校第2シード仙台商業と2回戦において仙台二高を下し勝ち上がった仙台高校との試合となった。仙台商業は1回表に4番大庭のレフトエントタイトルタイムリー二塁打により幸先よく先制点を奪う。また、6回、7回と1点ずつ加点し着実に仙台高校を引き離していく。仙台商業先発の狩野は6回まで仙台高校打線を寄せ付けず、無安打に抑え込んだ。迎えた7回裏。仙台高校は2番小林のチーム初ヒットを皮切りに1イニングに4安打を集中し2点を奪い1点差とし試合の流れを引き寄せる。流れは仙台高校に傾きかけたが、9回表に1番加藤のタイムリーヒットにより仙台商業が1点をさらに加え最後に突き放した。先発狩野は仙台高校打線を7回の2失点のみの抑え込み完投勝利。追いすがる仙台高校を下し、仙台商業が決勝へと進んだ。